

# 48 術後24時間以内の 予防的抗菌薬投与停止率

## 指標の解説

- 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。一般的に、非心臓手術では術後24時間以内、心臓手術では術後48時間以内に抗菌薬投与を中止することが推奨されている。
- 投与の中止により、患者への負担の減少や医療費の削減を図れるため、本指標は、予防的抗菌薬の投与が適切に行われているかを評価する指標となる。

分子: 手術翌日に予防的抗菌薬が投与されなかった件数

分母: 入院手術件数

